

#### 電子くじとは…

落札となるべき同価格の入力を行った者が2人以上あった場合に行うくじ機能になります。

従来の書面による入札と異なり応札者が入札会場に立会わない ケースが発生することから電子入札システムに標準実装されて いる機能です。

#### 電子くじに利用される情報

No	利用する情報	内容
Α	入札書提出日時	入札書がシステムに定常に格納された時間
В	くじ入力番号	入札書提出時に入力した3桁の数字
С	乱数	入札書受付票(※1)発行時にシステムが 自動的に発行する3桁の数字

※1 入札書提出時にシステムが入札書を受け付けたことを通知する帳票





- 1. くじ入力番号(B)と乱数(C)を加算し、その結果の下3桁を「くじ番号」とします。
- 2. くじ対象者のくじ番号をすべて加算します。
- 3. 加算された値をくじ対象者数で除算します。この時の余りが当たり番号です。
- 4. くじ対象者を入札書提出日時(A)の昇順に0からの応札順序を設定します。
- 5. 当たり番号と応札順序が一致する業者が落札候補業者となります。

# 例:くじ番号合計 553÷5 余り 3 ⇒ 応札順3番が落札候補業者

落札 候補業者	業者名称	くじ 入力番号 (B)	乱数 (C)	合計	くじ 番号	入札書提出日時 (A)	応札 順序
-	㈱テスト工務店A	100	011	111	111	2023/04/01 10:00:00	0
-	㈱テスト工務店B	500	720	1220	220	2023/04/01 11:00:00	1
-	㈱テスト工務店C	500	500	1000	000	2023/04/01 12:00:00	2
0	㈱テスト工務店D	700	302	1002	002	2023/04/01 13:00:00	3
-	㈱テスト工務店E	900	320	1220	220	2023/04/01 14:00:00	4

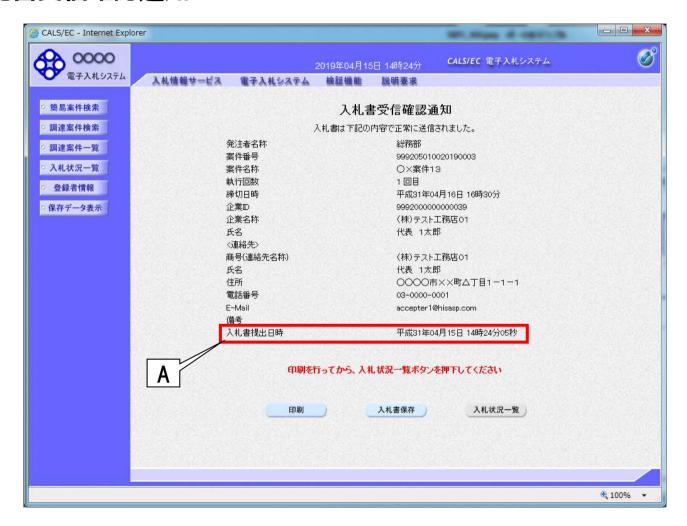


## 入札書



#### **HITACHI**

## 入札書受信確認通知





- 1. くじ入力番号(B)と乱数(C)を加算し、その結果の下3桁を「くじ番号」とします。
- 2. くじ対象者のくじ番号をすべて加算します。
- 3. 加算された値を<mark>係数変動範囲内の候補数(うるま市は「11個」)</mark>で除算します。 この時の余りが変動型最低制限価格の算出に用いられる<u>係数</u>となります。

# 例:〈じ番号合計 553÷11 余り 3 ⇒ 3番目の係数を使用

業者名称	くじ 入力番号 (B)	乱数 (C)	合計	くじ 番号
㈱テスト工務店A	100	011	111	111
㈱テスト工務店B	500	720	1220	220
㈱テスト工務店C	500	500	1000	000
㈱テスト工務店D	700	302	1002	002
㈱テスト工務店E	900	320	1220	220

係数 (変動幅:0.001)
1.000
1.001
1.002
1.003
1.010



4. 最低制限基本価格に係数を掛けたものが実際の最低制限価格となります。

例:最低制限基本価格

係数

最低制限価格

1,000,000円(税抜き) × 1.003 = 1,003,000円(税抜き)

最低制限基本価格 (税抜き)

1,000,000円

候補	係数 (変動幅:0.001)
0	1.000
1	1.001
2	1.002
3	1.003
10	1.010



## 参考:変動型最低制限価格の算出で利用される情報

### **HITACHI**

## 入札書

